



横浜市歴史博物館 企画展

横浜の野を駆ける

—古代東国の馬と牧—



【展示概要】

馬は人間にとって多くの役割を果たしてきてくれた動物です。日本列島には古墳時代の中頃に、馬、そして乗馬の文化、馬を育てる技術が朝鮮半島から導入されました。飛鳥時代から奈良時代にかけては、軍用や通信の手段としての馬の確保が重視され、各地に馬の生産牧場＝牧(まき)が作られました。平安時代には朝廷直轄の勅旨牧(ちよくしまき)が信濃(しなの)・上野(かみつけ)・甲斐(かい)・武蔵(むさし)の4カ国に設けられ、天皇の馬「御馬(おうま)」が毎年宮廷に送られました。

横浜市域を含む武蔵国には6ヶ所の勅旨牧が置かれ、そのうち2ヶ所は鶴見川流域にあったとみる説が有力です。この展覧会では古代の有力な馬産地の一つであった武蔵国を中心とする南関東の馬生産や交通の様相について、馬具などの考古資料や絵画資料、古典籍をまじえてご紹介します。

会 期	平成 31 年 1 月 30 日(水)～ 3 月 21 日(木祝)
開館時間	午前 9 時～午後 5 時(券売は 4 時 30 分まで)
観 覧 料	【企画展】一般 600 円、高校生・大学生 300 円、小学生・中学生 100 円 【共通券】一般 800 円、高校生・大学生 400 円、小学生・中学生 100 円
休 館 日	月曜日(2 月 11 日を除く)、2 月 12 日(火)
主 催	横浜市歴史博物館
共 催	横浜市教育委員会
協 力	公益財団法人馬事文化財団

*一般公開に先立ち、開催前日の 1 月 29 日(火)16 時からマスコミ関係者向けに内覧会を開催します。ぜひお越しください。

【主な展示資料と見どころ】(総展示数 約 200 点、国指定重要文化財 4 件を含む)

(1) 横浜から出土した豪華な馬具！

心葉形杏葉(横浜市磯子区室ノ木古墳出土)

/古墳時代(7世紀後半)・東京国立博物館所蔵

横浜市磯子区の室ノ木(むろのき)古墳に副葬されていた馬具のひとつです。鉄の地金に、唐草文(からくさもん)を透かし彫りした金銅板を貼り合わせた精巧な作りは、朝鮮半島からの輸入品か、もしくは優れた輸入品を手本に王権の工房で作られたものではないかと考えられています。繊細な文化財であるため、ご覧いただける機会はきわめて限られた資料です。



(2) 武蔵国で生まれた御馬が王朝絵巻で活躍！

平安時代、朝廷直轄の勅旨牧でうまれた選りすぐりの馬が、天皇の馬「御馬(おうま)」として毎年はるばるみやこへと送られました。みやこでは、宮廷の儀式や公用、行幸、神事などで御馬たちが活躍しました。展覧会では、彼らが活躍した姿をしのばせる華麗な絵画資料をお楽しみいただけます。

①源氏物語図色紙 蛭 /江戸時代・住吉具慶画・馬の博物館所蔵(展示期間 1月30日～2月24日)

②賀茂競馬図 /江戸時代・土佐光貞画・日野資枝書・馬の博物館所蔵(展示期間2月26日～3月21日)



①



②

(3) 牧は“つわもの”を生んだ！

鎧の札(さね) (西ノ谷遺跡出土)

/平安時代・(公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター所蔵

平安時代の10世紀後半以降、牧を経営する現地の人々が馬と鉄を掌握し、弓馬の腕をみがき、兵(つわもの)とよばれる職業戦士として勢力をたくわえ、やがて武士団が形成されたといわれています。展覧会では、勅旨牧の一つ小野牧(おののみき)の経営拠点とされる落川・一の宮(おちかわ・いちのみや)遺跡(東京都多摩市・日野市)の出土品、および鎧の部品や鎌(やじり)・馬具などが出土し、つわものの拠点とされる西ノ谷(にしのみや)遺跡(横浜市都筑区)をとりあげ、武蔵武士誕生のようすをご覧いただきます。



【展示構成】

プロローグ 波濤をこえて

- I 横浜に馬がやってきた (1)多摩川流域の渡来文化と馬具 (2)横浜の古墳と馬具
II 律令国家をささえた馬たち (1)古代国家の道と馬 (2)国府・郡家の馬たち
III 古代東国の牧と厩 (1)牧と厩 (2)勅旨牧と御馬たち (3)御馬、みやこへゆく
IV つわものの誕生と牧 (1)小野牧とつわものたち (2)つわものの拠点、西ノ谷遺跡
エピローグ 名馬の伝説

【関連イベント】

①特別講演会「どうして馬は倭国へやってきたのか」

2月11日(月祝)14:00～15:30

講師:白石太郎氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

事前申込(1月25日(金)必着)

②シンポジウム

「古代国家をささえた馬たち(仮)」

3月17日(日)13:30～16:00

講師:末崎真澄氏(公益財団法人馬事文化財団参与)、山口英男氏(東京大学史料編纂所教授)

コメンテーター:河野保博氏(京都造形芸術大学・産業能率大学兼任講師)

司会:鈴木靖民(当館館長)

事前申込(3月6日(水)必着)

③学芸員による研究講座「馬三題」

第1回 2月16日(土)「ユーラシア草原地域の初期騎馬遊牧民の文化(仮)」

講師:畠山禎(横浜ユーラシア文化館学芸員)

第2回 3月3日(日)「古代日本の宮廷儀礼と馬(仮)」

講師:柳沼千枝(当館学芸員)

第3回 3月10日(日)「近代・薄れゆく馬の記憶(仮)」

講師:羽毛田智幸(当館学芸員)

14:00～15:30 (受付13:30～)

当日受付

④フロアレクチャー

2月9日(土)、3月9日(土)、3月21日(木祝)

各日11:00～、14:00～ 当日受付

⑤特別企画ポニーと触れあおう!

2月10日(日)11:30～12:00、13:30～14:00 当日受付

【図録】

「横浜の野を駆ける」1,000円(税込)

A4判 フルカラー 64頁

お問い合わせ先：横浜市歴史博物館 副館長 井上攻 Tel045-912-7777

*画像データをご要望の場合は 久保(広報)へご連絡ください。



平成30年度企画展

横浜の野を駆ける —古代東国の馬と牧—



平成31年1月30日[水]
~3月21日[木祝]




縄文観音山古墳出土馬具
(国指定重要文化財)

家ノ木古墳出土馬具

酒巻14号墳出土馬形埴輪
(国指定重要文化財)

- 主催 横浜市歴史博物館
 - 共催 横浜市教育委員会 ●協力 公益財団法人馬事文化財団
 - 開館時間 9:00~17:00(券売は16:30まで)
 - 休館日 月曜日(2月11日を除く)、2月12日
 - 観覧料 一般 大学・高校生 中学・小学生
- | | | | |
|-----------|------|------|------|
| 企画展単券 | 600円 | 300円 | 100円 |
| 企画・常設セット券 | 800円 | 400円 | 100円 |

 横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL 045-912-7777
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>